

～選考にあたって～

音楽部門はピアノの岩田真由美さんである。東京芸術大学を卒業し、ワルシャワとパリに留学したあと、岩見沢に戻って演奏活動を行っている。高い技術に加えて、音が美しく音色が多彩だという特色があり、それが演奏に幅をもたらせている。同時に併せ持つ、曲の構成を理解して音で表す力と相まって大きな表現力が生まれ、豊かな響きで、取り上げる曲それぞれの魅力を引き出している。

美術部門は彫刻の藤原千也さんである。札幌出身で、大阪芸術大学を卒業後、和歌山での森林組合勤務を経て北海道に戻った。養護学校に勤めながら制作活動を行い、並行して北海道教育大学大学院にも学んだ。2011年から居住する中札内では、元は鉄工所だったアトリエで、巨木を相手に、斧やノミで、ひたすら削り、また彫りーという工程を通して、巨大なエネルギーや荘厳さを感じさせる作品を生み出している。

共に、今後の展開が大いに期待され、道銀芸術文化奨励賞にふさわしい方々であるとして推薦させていただいた。

2022年度 道銀芸術文化奨励賞選考委員長 前川 公美夫

第 32 回 道銀芸術文化奨励賞 音楽部門受賞

いわ た ま ゆ み
岩田 真由美 (ピアノ)

1986 年 4 月生 岩見沢市出身・在住



【略歴】

- 2009 年 東京藝術大学器楽科ピアノ専攻 卒業
- 2013 年 ショパン音楽大学 (ポーランド) に留学
- 2016 年 パリ・エコールノルマル音楽院 (フランス) において高等演奏課程を審査員満場一致で合格
室内楽において賛辞付き審査員満場一致で合格
- 2019 年 パリ・エコールノルマル音楽院コンサーティストディプロム取得

【受賞歴】

- 2018 年 レ・クレドールコンクール (エクセレンス部門) 第 1 位
レオポルド・ベラン国際コンクール 第 3 位
- 2019 年 シャトー国際ピアノコンクール 第 3 位

【近年の主な活動】

- 2018 年 エドワード・グリーグ国際ピアノコンクール出場 (ノルウェー)
- 2019 年 ブザンソン国際フェスティバルにおいてソロリサイタル開催 (フランス)
エコールノルマル音楽院創立 100 周年記念演奏会において恩師カツアラヴァ氏と 2 台ピアノで共演
(フランス)
- 2020 年 公益社団法人日本演奏連盟主催新進演奏家育成プロジェクトリサイタルシリーズ (札幌市)
- 2022 年 岩田真由美 & 三上絵里香ピアノデュオコンサート (札幌市)
タルヌフ室内管弦楽団とグリーグ「ピアノ協奏曲 イ短調 作品 16」共演 (ポーランド)
ピアノループフェスティバル「ピアノ 24」出演 (クロアチア)
楽興の時 関美矢子オーボエコンサートに伴奏・ソロにて共演 (札幌市)
小岩明日香フルートリサイタルに伴奏・ソロにて共演 (釧路市・札幌市)

これまでに岩崎むつみ、東誠三、黒山映、ガブリエル・タッキーノ、ブロンニスワヴァ・カヴァラ、フィリップ・ラスキン、ギグラ・カツアラヴァ各氏に師事。

グレゴリー・グルツマン、ヴィンチェンツォ・バルツァーニ、クリスチャン・トカチェフスキ、ケマル・ゲキチ、ジュゼッペ・アンダローロ、アンドレアス・フルーリッヒ、オリヴィエ・ギャルドン、マリー・カトリーヌ・ジロー各氏のマスタークラスを受講。

6 年間のフランス留学においてソロ、室内楽でフランス、ポーランド、イタリア、クロアチア、ノルウェー、ヨーロッパ各国で行われたコンサートに出演。

現在、北海道を中心にソロ、伴奏にて演奏活動を行う。

ニューヨークシティピアノアカデミーオンライン講師 (アメリカ)、PTNA 演奏会員、北海道教育大学岩見沢校非常勤講師。

第 32 回 道銀芸術文化奨励賞 美術部門受賞

ふじ わら かず や
藤 原 千 也 (彫刻)

1978 年 9 月生 札幌市出身・中札内村在住

【略歴】

- 2002 年 大阪芸術大学美術学部立体造形学科卒業
和歌山県高野町森林組合に所属 (2004 年まで)
- 2018 年 北海道教育大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻 美術教育専修 空間造形研究室 修了

【主な受賞歴】

- 2001 年 第 51 回 西宮市展 西宮市展奨励賞受賞 (西宮市立市民ギャラリー)
- 2008 年 第 83 回 道展 入選 (札幌市民ギャラリー)
- 2020 年 第 23 回 岡本太郎現代芸術賞展 特別賞受賞 (川崎市岡本太郎美術館)
十勝文化団体協議会 文化奨励賞受賞

【近年の主な活動】

- 2009 年 個展 ひらかれている (茶廊法邑/札幌市)
- 2010 年 個展 ひらかれている (FLOWMOTION/帯広市)
- 2011 年 個展 ひとつの中心と呼吸する (とかるね/豊頃町)
個展 N.P.blood21 vol.10 藤原千也展 ひとりのひとにひとつずつの
(北網圏北見文化センター美術館)
- 2013 年 JR タワー アートプラネッツグランプリ展 (プラニスホール/札幌市)
道東アートファイル 2013 in the LIGHT/in the SHADOW (北海道立帯広美術館)
帯広防風林アートプロジェクト 2013-14 (帯広市内空港線沿い雪原)
モケラモケラ企画若手作家シリーズ 1 からすと山羊と鉛 見上げれば空 展
(Art Space / café MOKERA MOKERA/旭川市)
- 2015 年 六花ファイル (六花亭 六花文庫/札幌市)
- 2017 年 ひかりの抜け道 (大丸藤井セントラル/札幌市)
ピカリ展 -12 人の切り口- (丸彦渡辺建設 まるひこアートスペース/札幌市)
- 2018 年 藤原千也 オープンアトリエ (中札内村)
- 2019 年 第 38 回帯広市民芸術祭 招待作家展
藤原千也展 -ふたたび生成のうちに- (帯広市民ギャラリー)
はこだてトリエンナーレ / 藤原千也展 -光景- (木古内町郷土資料館)
JR タワー アートボックス (JR 札幌駅)
- 2021 年 札幌美術展 アフターダーク (札幌芸術の森美術館)
- 2022 年 札幌市南区芸術祭 (CO みどり/札幌市)
藤原千也 オープンアトリエ -生成- (中札内村)



この他、道内美術館でのワークショップ開催、音楽・映像・ダンスとのコラボレーションなどを行う。
2020 年 3 月、論文『円空と「木なり」』を「北海道芸術論評第 12 号」に発表。